

付録

この章では、作業チェックリスト、アプリケーションのアンインストール手順、初期設定処理についておよびアプリケーションのフォルダ構成などについて説明します。

付録. A 作業チェックリスト

付録. A. 1 作業チェックリスト

「国保事業費納付金等算定標準システム インストールガイド（アプリケーション編）」で実施する作業のチェックリストを、構成ごとに以下に記載します。なお、記載している時間は、国民健康保険中央会の環境で実測した時間を参考として記載しています。

チェックリストは、前提の確認、モジュールの適用、各種設定およびアプリケーションの起動確認を実施する各項の手順が完了した際にチェックを行ってください。

(1) 前提の確認

表 A-1 前提作業の確認チェックリスト

No.	確認項目	チェックボックス
1	「国保事業費納付金等算定標準システム インストールガイド（機器構築編）第 3.0 版」に従って、納付金システムの機器構築が完了していること	☐

(2) 適用手順

(a) スタンドアロン構成およびダブルスタンドアロン構成

表 A-2 スタンドアロン構成およびダブルスタンドアロン構成の作業チェックリスト

No.	作業項目	対象機器	チェックボックス	時間
1	2.1 インストールにあたっての準備	スタンドアロン端末	☐	2 分 ^{*1}
2	2.2 アプリケーションのインストール手順	スタンドアロン端末	☐	20 分
3	3.2 Web ブラウザの環境設定 (Microsoft Edge)	スタンドアロン端末	☐	20 分
4	3.4.1 ショートカット作成の事前準備	スタンドアロン端末	☐	2 分
5	3.4.2 ショートカットの作成 (スタンドアロン端末)	スタンドアロン端末	☐	5 分
6	4.1 アプリケーションの起動確認	スタンドアロン端末	☐	2 分
7	4.2 モジュール適用後バックアップ取得	スタンドアロン端末	☐	80 分 ^{*2}
			計	131 分

注※1 OS およびミドルウェアの起動確認の実施時間のみ記載しています。

注※2 バックアップソフトウェアは、製品未指定となりますので、採用する製品ごとに作業時間が異なります。国民健康保険中央会の環境で実測した時間を参考として記載しています。

(b) 国保連委託構成

表 A-3 国保連委託構成の作業チェックリスト

No.	作業項目	対象機器	チェックボックス	時間
1	2.1 インストールにあたっての準備	業務端末 (国保連)	☐	2 分 ^{※1}
2	2.2 アプリケーションのインストール手順	納付金 サーバ	☐	20 分
3	3.3 Web ブラウザの環境設定 (Internet Explorer 11)	業務端末 (都道府県)	☐	20 分
		業務端末 ^{※2} (国保連)	☐	20 分
4	3.4.1 ショートカット作成の 事前準備	業務端末 (都道府県)	☐	2 分
		業務端末 (国保連)	☐	2 分
5	3.4.3 ショートカットの作成 (業務端末)	業務端末 (都道府県)	☐	5 分
		業務端末 (国保連)	☐	5 分
6	4.1 アプリケーションの 起動確認	業務端末 (都道府県)	☐	2 分
		業務端末 (国保連)	☐	2 分
7	4.2 モジュール適用後 バックアップ取得	納付金 サーバ	☐	30 分 ^{※3}
		納付金 Web サーバ	☐	30 分 ^{※3}
		業務端末 (都道府県)	☐	30 分 ^{※3}
			計	170 分

注※1 OS およびミドルウェアの起動確認の実施時間のみ記載しています。

注※2 国保総合システムの端末と共用する場合は実施不要です。

注※3 バックアップソフトウェアは、製品未指定となりますので、採用する製品ごとに作業時間が異なります。国民健康保険中央会の環境で実測した時間を参考として記載しています。

付録.B アプリケーションのアンインストール手順

納付金システムのアプリケーションの設定の削除と、アンインストールする手順を説明します。

本手順を実施すると、納付金システムが動作しなくなりますので、実施する場合は十分ご注意ください。

アプリケーションのアンインストールの実施手順の流れを次に示します。

表 B-1 アプリケーションのアンインストール手順

作業	概要	手順 (このマニュアルでの説明箇所)
1. アプリケーションの設定削除処理	アプリケーションを動作させるための設定を削除します。	付録.B.1 アプリケーションの設定削除処理の実行手順
▼		
2. アプリケーションのアンインストール	インストールしたアプリケーションを削除します。	付録.B.2 アプリケーションのアンインストール手順

付録.B.1 アプリケーションの設定削除処理の実行手順

納付金システムのアプリケーション設定の削除処理について説明します。

(1) アプリケーション設定削除処理の準備

(a) OS のユーザアカウント情報の確認

アプリケーションの設定削除処理と、アンインストール作業は「Administrator」権限のユーザアカウントでログインして実施しますので、「Administrator」権限のユーザ名、パスワードを確認してください。

(b) アプリケーションサーバのユーザ情報の確認

アプリケーションサーバ（WebLogic）に接続するために必要となるユーザ名、パスワードを確認してください。確認したパスワードは、「付録.B.1(2) アプリケーション設定削除処理の実行手順」で使します。

(c) データベースのユーザ情報の確認

データベースに接続するために必要となるユーザ「NOUFUKINDBADM」のパスワードを確認してください。確認したパスワードは、「付録.B.1(2) アプリケーション設定削除処理の実行手順」で使します。

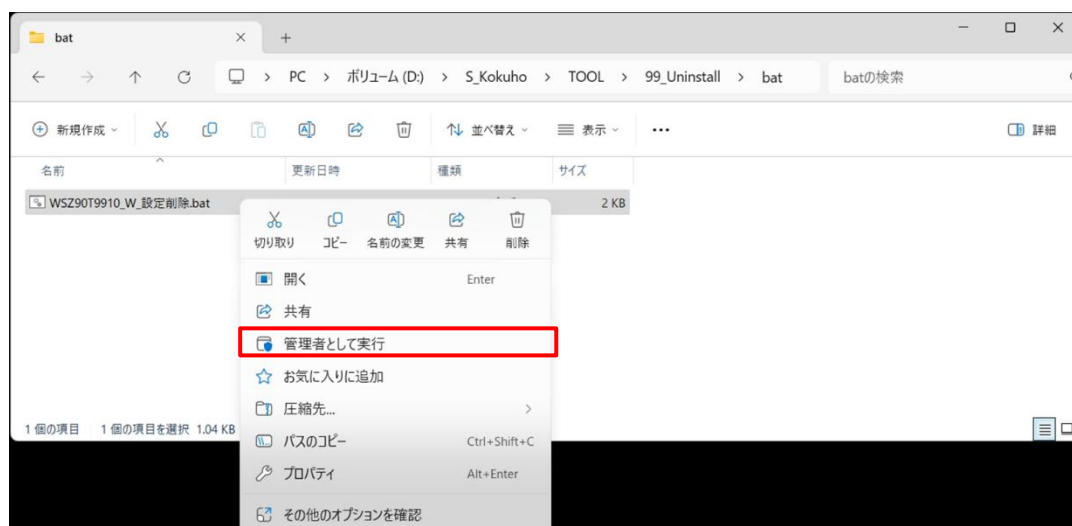
(2) アプリケーション設定削除処理の実行手順

1. 「Administrator」権限のユーザでログインします。
2. 「D:\¥S_Kokuho¥TOOL¥99_Uninstall¥bat¥WSZ90T9910_W_設定削除.bat」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。

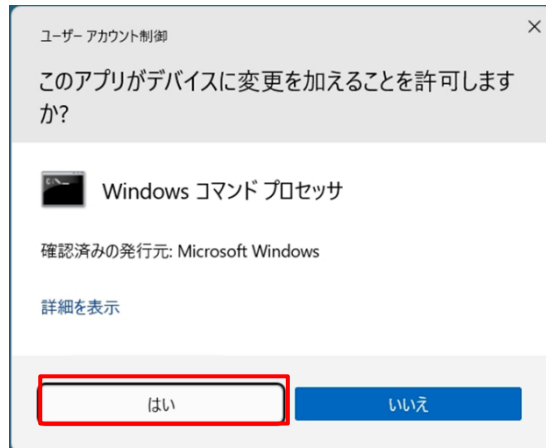


WSZ90T9910_W_設定削除.bat の実行について

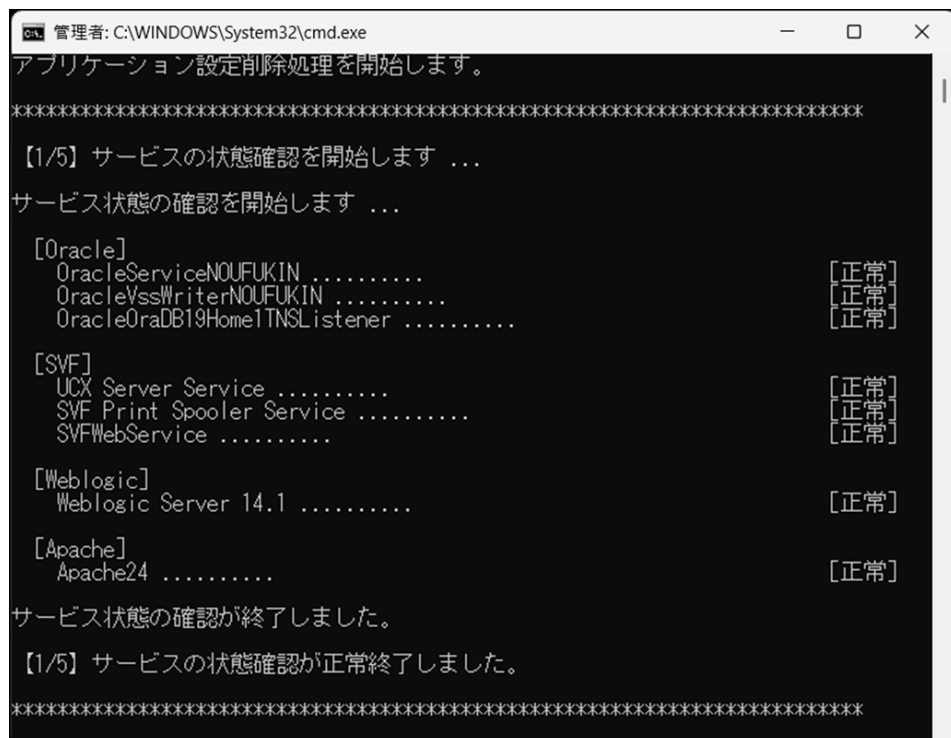
- ・ WSZ90T9910_W_設定削除.bat は、ダブルクリックによる実行はしないでください。



3. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]ボタンを押下します。

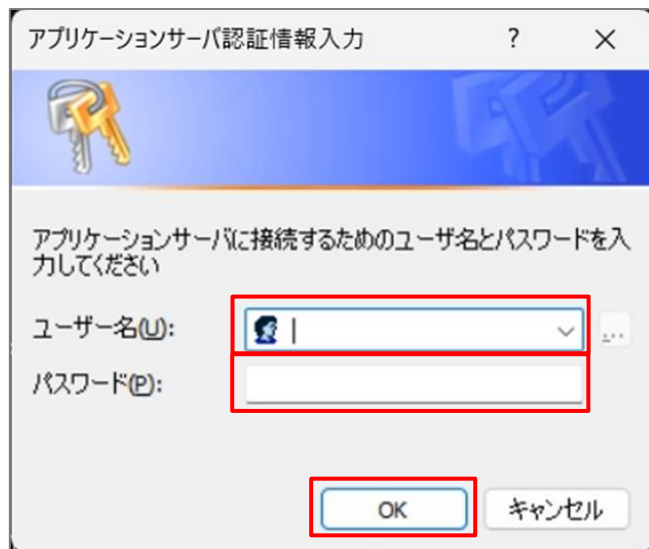


4. 「管理者: コマンドプロンプト」画面が表示されます。



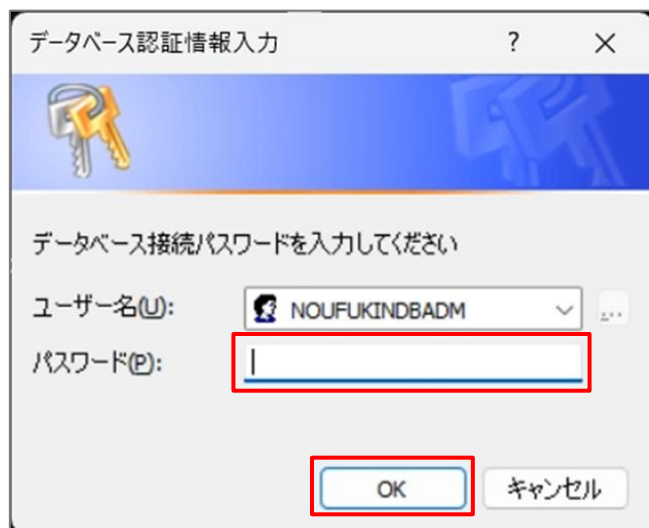
しばらく待つと、手順 5. の画面が表示されます。

5. 「アプリケーションサーバ認証情報入力」画面で、「ユーザー名」欄と「パスワード」欄に「付録.B.1(1)(b) アプリケーションサーバのユーザ情報の確認」で確認した、アプリケーションサーバ（WebLogic）に接続するためのユーザ名、パスワードを入力して[OK]ボタンを押下します。



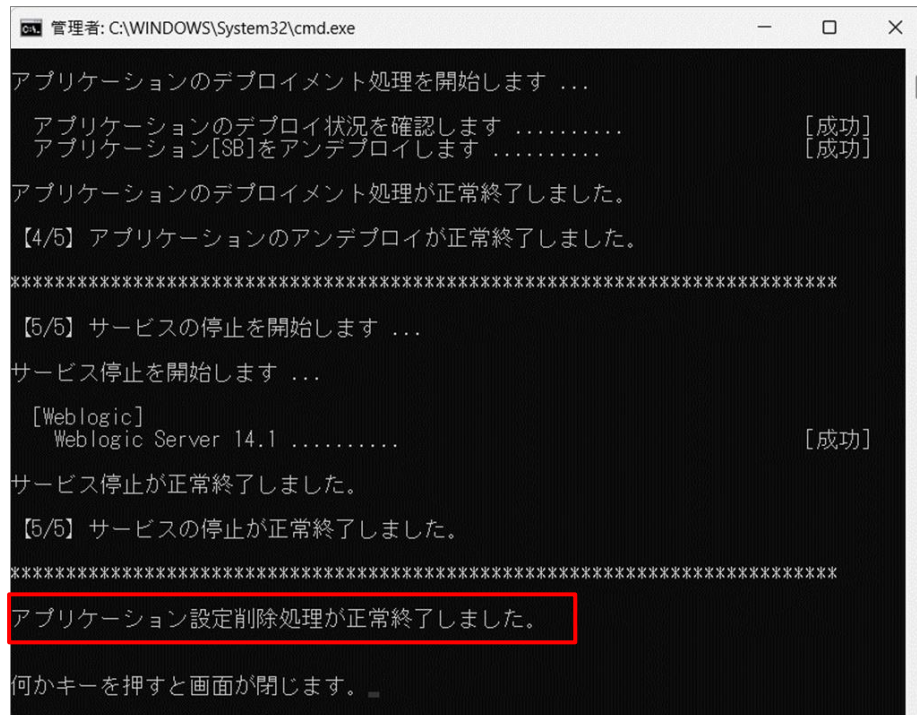
[OK]ボタンを押下すると、手順6.の画面が表示されます。

6. 「データベース認証情報入力」画面で、「パスワード」欄に、「付録.B.1(1)(c) データベースのユーザ情報の確認」で確認した「NOUFUKINDBADM」ユーザのパスワードを入力して、[OK]ボタンを押下します。



アプリケーションの設定削除が実行されます。しばらく待つと、手順7.の画面が表示されます。

7. 「管理者: コマンドプロンプト」画面で、「アプリケーション設定削除処理が正常終了しました。」と表示されていることを確認して、Enter キーを押下します。



```

管理者: C:\WINDOWS\System32\cmd.exe

アプリケーションのデプロイメント処理を開始します ...
  アプリケーションのデプロイ状況を確認します ..... [成功]
  アプリケーション[SB]をアンデプロイします ..... [成功]
アプリケーションのデプロイメント処理が正常終了しました。
【4/5】 アプリケーションのアンデプロイが正常終了しました。
*****

【5/5】 サービスの停止を開始します ...
サービス停止を開始します ...
  [Weblogic]
  Weblogic Server 14.1 ..... [成功]
サービス停止が正常終了しました。
【5/5】 サービスの停止が正常終了しました。
*****
アプリケーション設定削除処理が正常終了しました。
何かキーを押すと画面が閉じます。 _
  
```

「管理者: コマンドプロンプト」画面が閉じると、アプリケーション設定削除処理は完了です。

付録.B.2 アプリケーションのアンインストール手順

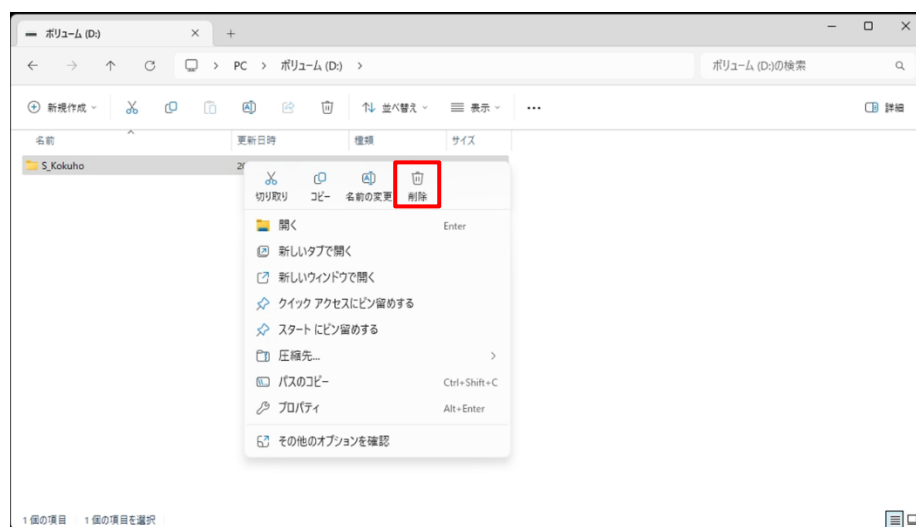
アプリケーションをアンインストールする手順を説明します。

(1) アプリケーションのアンインストール

⚠ 作業を行う前に

- ・ 本手順では、OS の再起動を行います。事前に作業をしている場合は作業内容を保存して、終了してから本手順を実施してください。

1. 「D:¥S_Kokuho」フォルダを右クリックし、「削除」をクリックします。



2. 作業の対象となる機器を再起動します。

再起動が終了すると、アンインストールは完了です。

⚠ 「D:¥S_Kokuho」フォルダについて

- ・ 削除したフォルダはデスクトップのごみ箱に格納されています。必要に応じてごみ箱から削除してください。

付録.C アプリケーション初期設定処理の再実行

納付金システムのアプリケーション初期設定処理の再実行の手順について説明します。

初期設定処理の実施手順の流れを次に示します。

表 C-1 アプリケーション初期設定処理の再実行の手順

作業	概要	手順 (このマニュアルでの説明箇所)
1. アプリケーションの初期設定処理	アプリケーションを動作させるための設定を行います。	付録.C.1 アプリケーション初期設定処理の再実行手順
▼		
2. アプリケーション初期設定処理のログの確認	アプリケーション初期設定処理の実行ログを確認します。	付録.C.2 アプリケーション初期設定処理のログ確認方法

付録. C.1 アプリケーション初期設定処理の再実行手順

アプリケーション初期設定処理の再実行手順について説明します。

この手順は、アプリケーションサーバ、データベースのユーザ情報を誤った場合、都道府県名を誤って選択した場合などに実施してください。

(1) アプリケーション初期設定処理の準備

(a) OS のユーザアカウント情報の確認

アプリケーションの初期設定処理作業は「Administrator」権限のユーザアカウントでログインして実施しますので、「Administrator」権限のユーザ名、パスワードを確認してください。

(b) アプリケーションサーバのユーザ情報の確認

アプリケーションサーバ（WebLogic）に接続するために必要となるユーザ名、パスワードを確認してください。確認したパスワードは、「付録. C.1(2) アプリケーション初期設定処理の再実行手順」で使します。

(c) データベースのユーザ情報の確認

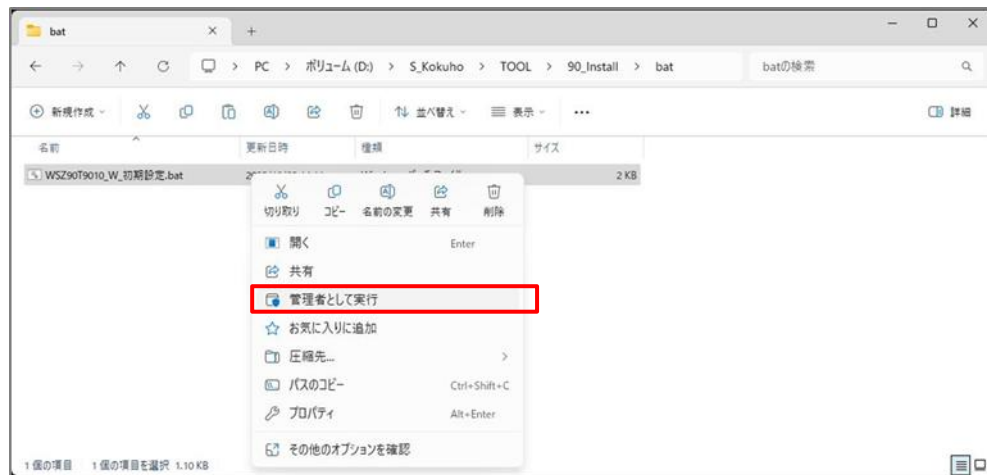
データベースに接続するために必要となるユーザ「NOUFUKINDBADM」、「NOUFUKINDBGYM」のパスワードを確認してください。確認したパスワードは、「付録. C.1(2) アプリケーション初期設定処理の再実行手順」で使します。

(2) アプリケーション初期設定処理の再実行手順

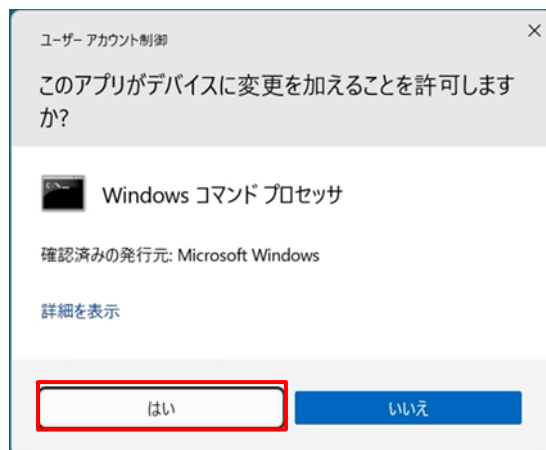
1. 「Administrator」 権限のユーザでログインします。
2. 「D:\¥S_Kokuho¥TOOL¥90_Install¥bat¥WSZ90T9010_W_初期設定.bat」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。

⚠ WSZ90T9010_W_初期設定.bat について

- ・ WSZ90T9010_W_初期設定.bat は、ダブルクリックによる実行はしないでください。



3. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]ボタンを押下します。



4. 「管理者: コマンドプロンプト」画面が表示されます。

```
管理者: C:\WINDOWS\System32\cmd.exe

サービス状態の確認を開始します ...

[Oracle]
OracleServiceNOUFUKIN ..... [正常]
OracleVssWriterNOUFUKIN ..... [正常]
OracleOraDB19Home1TNSListener ..... [正常]

[SVF]
UCX Server Service ..... [正常]
SVF Print Spooler Service ..... [正常]
SVFWebService ..... [正常]

[Weblogic]
Weblogic Server 14.1 ..... [正常]

[Apache]
Apache24 ..... [正常]

サービス状態の確認が終了しました。

【1/8】 サービスの状態確認が正常終了しました。

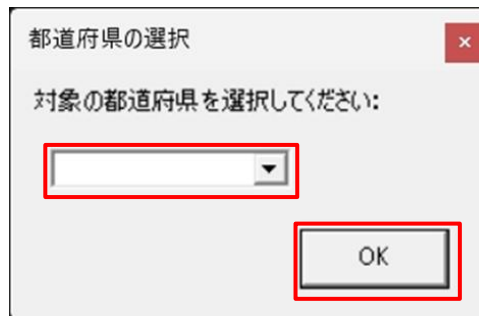
*****

【2/8】 都道府県の選択および認証情報の入力を開始します ...

都道府県を選択してください。
```

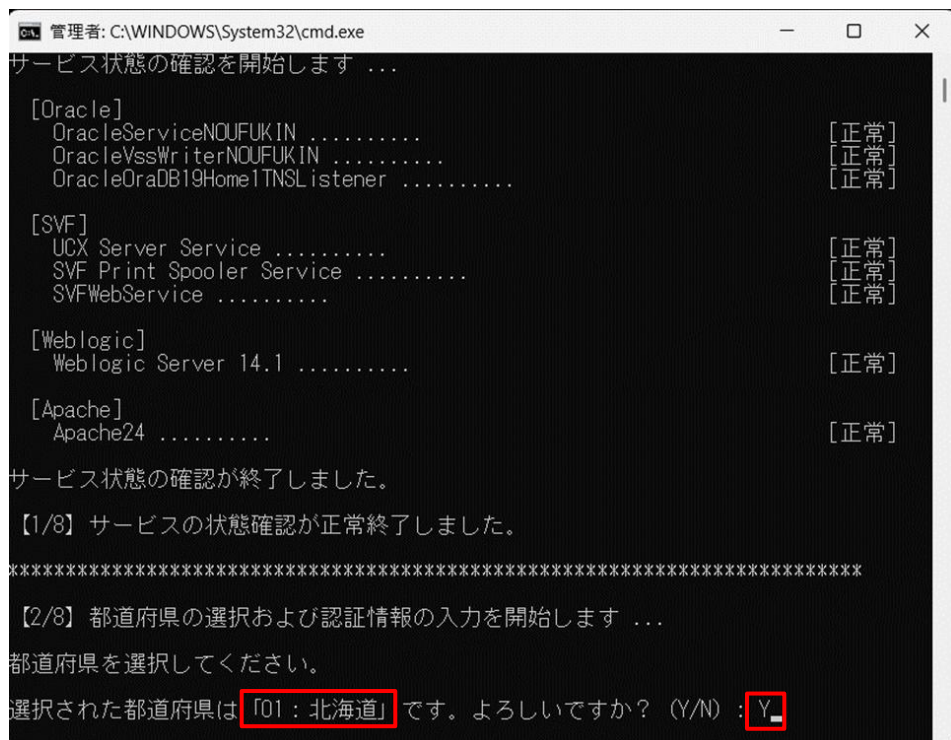
しばらく待つと、手順 5. の画面が表示されます。

5. 「都道府県の選択」画面で、「対象の都道府県を選択してください：」のプルダウンメニューから、都道府県名を選択し、[OK] ボタンを押下します。



[OK] ボタンを押下すると、手順 6. の画面が表示されます。

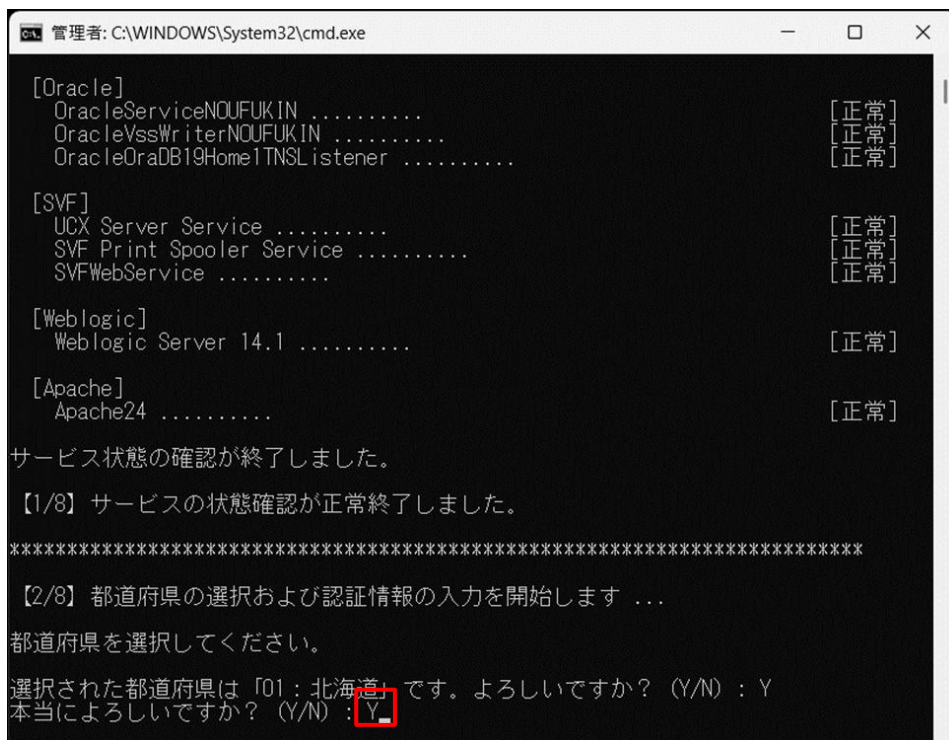
6. 「管理者： コマンドプロンプト」画面で、手順 5. で選択した都道府県名が表示されます。都道府県名に誤りがないことを確認して、「Y」（半角）を入力して Enter キーを押下します。



⚠ 都道府県名を誤って選択した場合

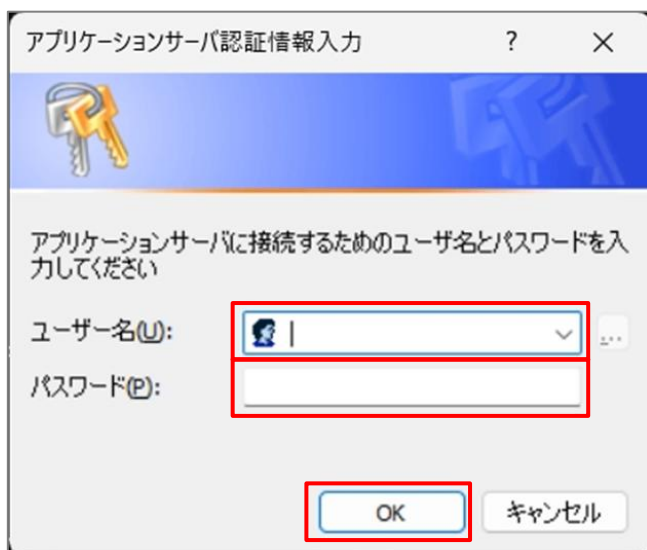
- 都道府県名の選択を誤って選択した場合は、「N」（半角）を入力した後 Enter キーを押下します。Enter キーを押下すると、手順 5. の画面が表示されますので、手順 5. から実施してください。

7. 「管理者: コマンドプロンプト」画面で、改めて都道府県名に誤りがないことを確認して、「Y」（半角）を入力して Enter キーを押下します。



Enter キーを押下すると、手順 8. の画面が表示されます。

8. 「アプリケーションサーバ認証情報入力」画面で、「ユーザー名」欄と「パスワード」欄に「付録. C.1(1)(b) アプリケーションサーバのユーザ情報の確認」で確認した、アプリケーションサーバ（WebLogic）に接続するためのユーザ名、パスワードを入力して [OK] ボタンを押下します。

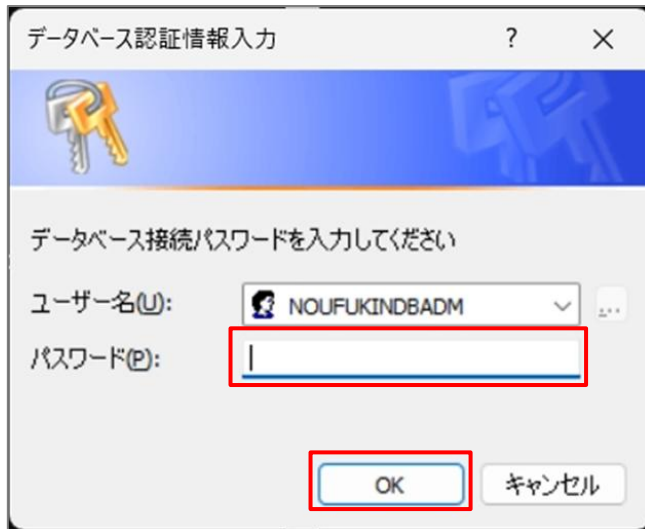


[OK] ボタンを押下すると、手順 9. の画面が表示されます。

9. 「データベース認証情報入力」画面で、「パスワード」欄に、「付録.C.1(1)(c) データベースのユーザ情報の確認」で確認した「NOUFUKINDBADM」ユーザのパスワードを入力して、[OK]ボタンを押下します。

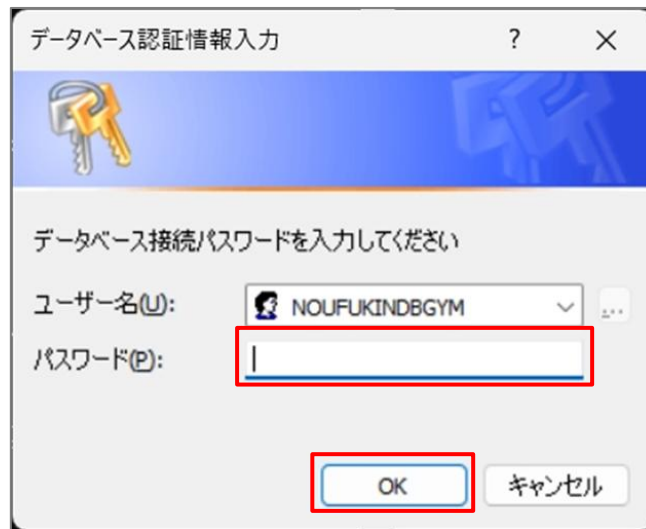
 データベースのユーザ情報について

- データベースのユーザ情報は、「NOUFUKINDBADM」と「NOUFUKINDBGYM」の2種類があります。対象となるユーザを確認し、パスワードの入力に間違いが無いようにご注意ください。



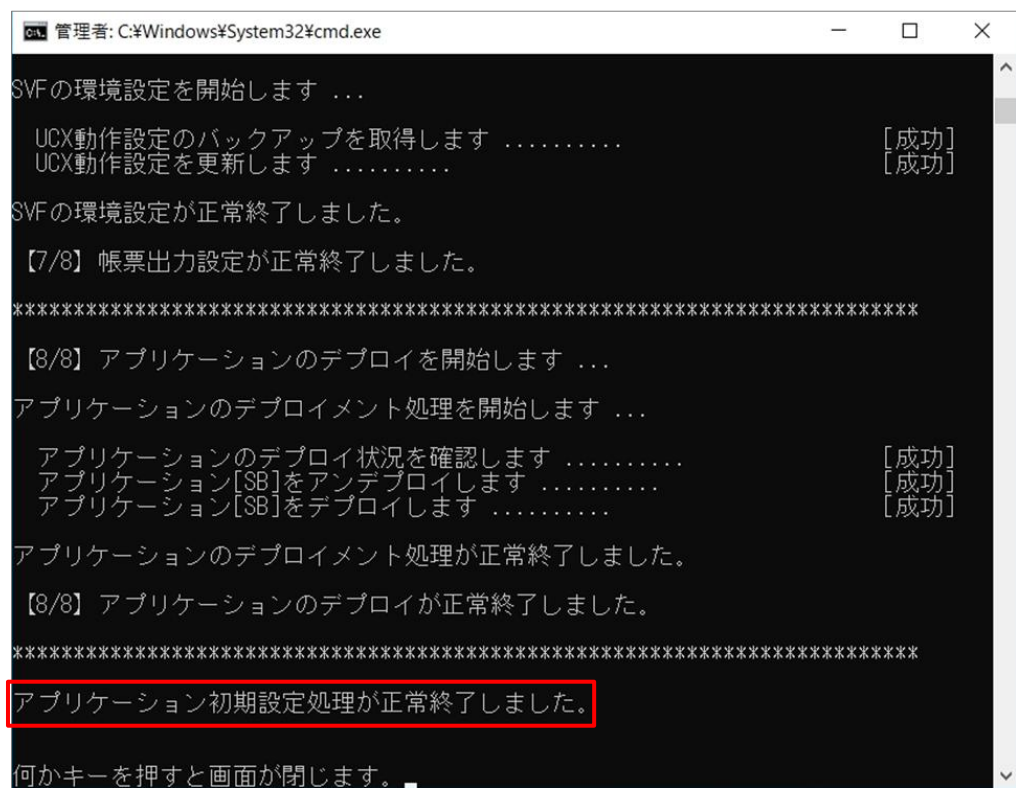
[OK]ボタンを押下すると、手順 10. の画面が表示されます。

10. 「データベース認証情報入力」画面で、「パスワード」欄に、「付録. C. 1 (1) (c) データベースのユーザ情報の確認」確認した「NOUFUKINDBGYM」ユーザのパスワードを入力して、[OK] ボタンを押下します。



初期設定処理が実行されます。しばらく待つと、手順 11. の画面が表示されます。

11. 「管理者: コマンドプロンプト」画面で、「アプリケーション初期設定処理が正常終了しました。」と表示されていることを確認して、Enter キーを押下します。



「管理者: コマンドプロンプト」画面が閉じると、アプリケーション初期設定処理は完了です。

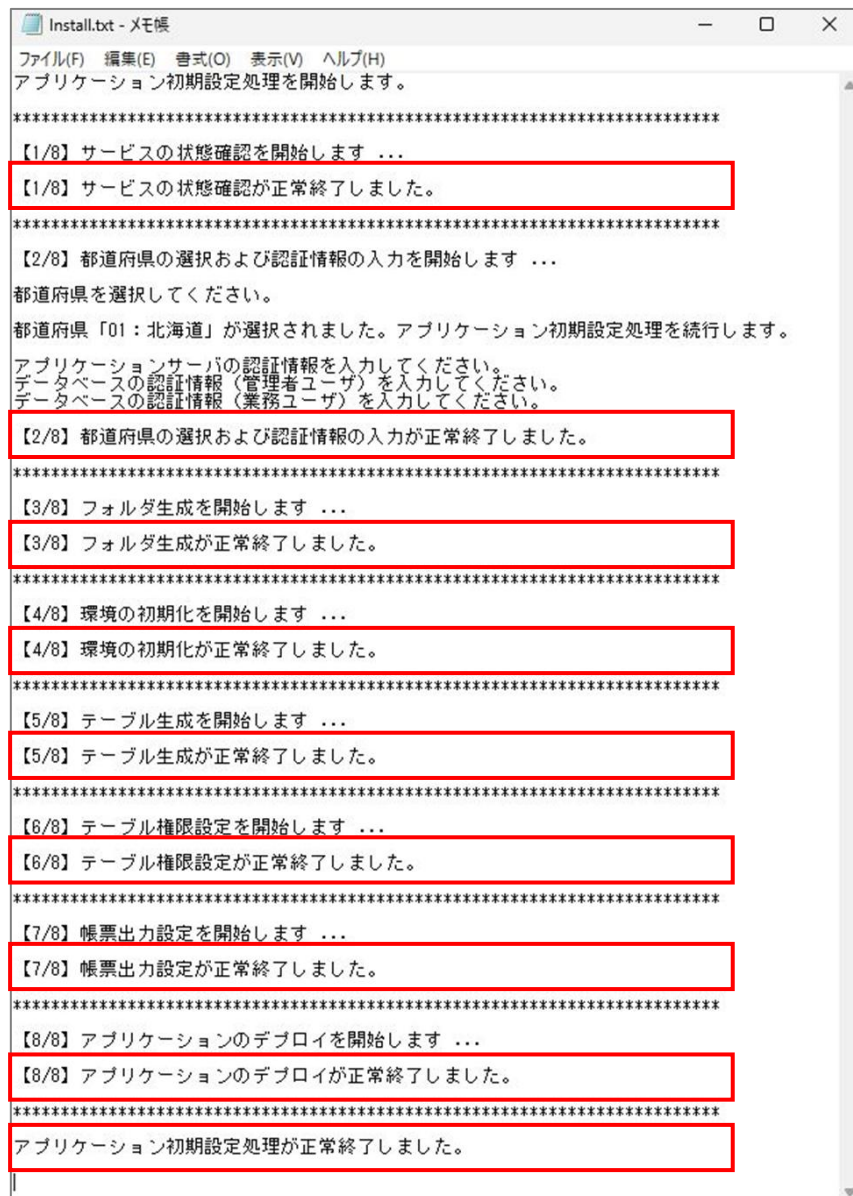
付録.C.2 アプリケーション初期設定処理のログ確認方法

アプリケーション初期設定処理で出力される、ログの確認方法について説明します。
本手順は、インストールガイド（アプリケーション編）の「2.2(4) アプリケーションのインストール」で実行するインストーラのログについても同様に確認できます。

1. 「D:¥S_Kokuho¥T00L¥90_Install¥log¥Install.txt」をダブルクリックして開きます。



2. 以下の項目の行に「正常終了しました。」と記載されていることを確認します。



```

Install.txt - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
アプリケーション初期設定処理を開始します。

*****
【1/8】サービスの状態確認を開始します ...
【1/8】サービスの状態確認が正常終了しました。
*****

【2/8】都道府県の選択および認証情報の入力を開始します ...
都道府県を選択してください。
都道府県「01：北海道」が選択されました。アプリケーション初期設定処理を続行します。
アプリケーションサーバの認証情報を入力してください。
データベースの認証情報（管理者ユーザ）を入力してください。
データベースの認証情報（業務ユーザ）を入力してください。
【2/8】都道府県の選択および認証情報の入力が正常終了しました。
*****

【3/8】フォルダ生成を開始します ...
【3/8】フォルダ生成が正常終了しました。
*****

【4/8】環境の初期化を開始します ...
【4/8】環境の初期化が正常終了しました。
*****

【5/8】テーブル生成を開始します ...
【5/8】テーブル生成が正常終了しました。
*****

【6/8】テーブル権限設定を開始します ...
【6/8】テーブル権限設定が正常終了しました。
*****

【7/8】帳票出力設定を開始します ...
【7/8】帳票出力設定が正常終了しました。
*****

【8/8】アプリケーションのデプロイを開始します ...
【8/8】アプリケーションのデプロイが正常終了しました。
*****
アプリケーション初期設定処理が正常終了しました。

```

⚠ 処理が異常終了した場合

- ・ 処理が異常終了した場合は、最終行に「アプリケーション初期設定処理を中止します。」と出力されます。
エラーの内容をご確認の上、国保事業費納付金等算定標準システム サポートサイトにお問合せください。

アプリケーション初期設定処理の再実行が正常に終了した場合は、インストールガイド（アプリケーション編）の「4 納付金システムの起動確認および適用後の手順」を参照し、納付金システムの起動確認を実施してください。

付録.D アプリケーションのフォルダ構成

インストールを実行することで作成されるフォルダの構成について記載します。

付録.D.1 アプリケーションのフォルダ構成

表 D-1 アプリケーションのフォルダ構成

ルート	フォルダ		
D:\ S_Kokuho\	SB\	Batch\	
			bat\
			conf\
			lib\
			tmp\
		Common\	
			conf\
		Online\	
			conf\
			ear\
			lib\
			tmp\
		Rep\	
			def\
	TOOL\		
		00_Common\	
			script\
		10_Operati on\	
			bat\
			conf\
			log\
			script\
			sql\
			tmp\
		20_Mainten ance\	
			bat\
			conf\
			log\
			script\
			sql\
			tmp\
		80_DataExt raction\	
			bat\
			csv\
			sql\

ルート	フォルダ		
D:\S_Kokuho	TOOL		
		81_DataPatch	
			bat
			csv
			log
			script
			sql
			tmp
		90_Install	
			bat
			conf
			ddl
			init_data
			log
			script
			svf
			tmp
		98_Update	
		99_Uninstall	
			bat
			ddl
			log
			script
			tmp
E:\S_Kokuho	SB		
		Batch	
			log
			batlog
		Online	
			log
F:\S_Kokuho	SB		
		Data	
			int
			prm
			tmp
		Renkei	
			receive
			done
			receive_back
		Rep	
			csv
			pdf

【このページは白紙です】